



▲「鳥居町あいあいクラブ」では七夕飾りを作りました。

岩代地域には現在、23のサロンがあり、定期的に活動しています。一方、サロンの主催者からは「毎回、内容を考えるのが大変」などという声も聞こえてきます。そこで「こんな活動も行われています」といった事例を紹介いたします。サロンの立ち上げに必要な条件や受けられる支援なども紹介いたします。

サロンで居場所づくり＆見守り体制づくりを。サロン立ち上げのお誘い

かわら版
集落支援員だより



「みんなと話したり笑ったりして元気になる。そんな心地よい居場所がサロンです」

サロンに集まる方々に「サロンに来て良かったことは？」と尋ねると、真っ先に「みんなの顔が見られること」「おしゃべりできること」という声が返ってきます。「自宅にいても話相手がいなくてサロンの方が嬉しい」という一人暮らしの方や、「周りの人の近況も聞けるし、安否確認にもなるので貴重な場」という声も聞かれます。



▲「長折やすらぎ会」ではボールを用いたゲームで盛り上がりました。

岩代に住む皆さんにとってサロンの存在が、生きがい創出の場、そして見守りの場になっていると言っても過言ではないようです。

「5人以上集まれば、サロン登録が可能。お茶のみやおしゃべりでもOKです」

「サロンを立ち上げる？」と聞くと難しく感じてしまうかもしれませんが、実はとっても簡単です。条件としては「5人以上の集まりであること」「月に一度以上集まること」「地域住民の集まり

役立つ知識が身に付く＆楽しい！ 講師派遣メニュー紹介

サロンで利用できる講師派遣制度のメニュー例を紹介します。日程は要相談です。

■なりすまし詐欺防止等講習会■

→二本松警察署から講師が派遣され、オレオレ詐欺等の被害対策についてお話が聞けます。

■交通安全関連の講習会■

→二本松警察署交通課から講師が派遣され、サポートカーの乗車体験や事故防止の運転指導が行われます。

■薬や健康にまつわる講習会■

→薬の飲み合わせなど、薬剤師が薬にまつわる疑問に答えてくれます。

■舞踊・歌・昔話など■

→ダンスや歌、懐かしい昔話の語りなど、それぞれ講師が派遣され、楽しい時間を過ごせます。

■口腔ケア講習会■

→正しいうがい・歯磨きの仕方、入れ歯のお手入れ方法など、歯科衛生士による指導が受けられます。お口の悩みについての相談も受けます。



▲「さくらサロン」では薬にまつわる講座を開催



▲「すみれサロン」では口腔ケア講座を開催

★サロンではこんな支援が受けられます！★

サロンとして登録すると、次のような助成金や支援が受けられます。詳細は、下記までご連絡ください。

◆活動費の助成が受けられます。

→月1,000円×12カ月＝1万2,000円（市社協から）。

→年3,000円＋年末年始活動費5,000円＝8,000円（いわしろ福祉会から）。

◆傷害保険への加入。

◆講師派遣制度も利用できます（無料）。

◆全16種類!!ゲーム用グッズの貸し出しも受けられます。

お問い合わせ先／二本松市社会福祉協議会 岩代支所
☎0243-65-2003 武藤または菅野（すげの）まで

★集落支援員と一緒に「昔遊び」をしませんか？★

「はないちもんめ」「かごめかごめ…」、お手玉遊び、ハンカチ落とし…その他、懐かしい昔の遊びをサロンで体験しませんか？興味のある方は、集落支援員までご連絡をお願いします！ ☎65-2777

高額支援団体&有志の方を
紹介いたします

企業や団体などで3万円以上、個人として10万円以上の寄付をくださった団体・個人名を紹介させていただきます。



▲小浜中学校S52卒OBから同級会の宴席で岩代観光協会事務局長に寄付金を手渡されました。

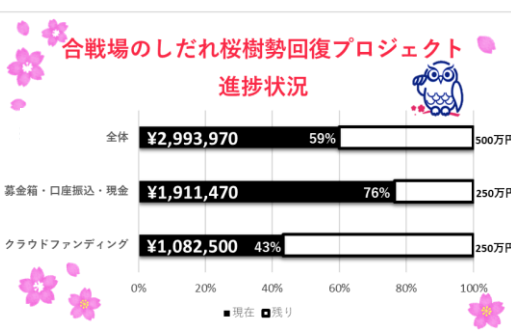
<団体>

- 岩代山野草会さま
- いわしろ夢現塾さま
- S34小浜中3年A組さま
- 小浜中学校S52年度卒同級会さま
- あだたら商工会さま
- 企業組合さくらの郷理事会さま
- あだち観光協会さま
- 東和観光協会さま
- 岩代観光協会さま
- 東京二本松会の有志の皆さま

<個人>

- ◆安齋 隆さま（東洋大学理事長、セブン銀行顧問）
- ◆保木井啓史さま

～岩代のシンボル・合戦場のしだれ桜を後世に～
樹勢回復プロジェクト 目標達成まであと約200万円！



合戦場のしだれ桜の樹勢回復プロジェクトの立ち上げから三カ月以上が経過しました。七月には新たにクラウドファンディングも始まり、募金箱、口座振込など、さまざまな形で支援が寄せられる中、現在の状況について合戦場のしだれ桜保存会会長、山崎さんから話をうかがいました。

合戦場のしだれ桜保存会
会長 山崎清志さん



「目標額までまだまだ遠い道のりですが、今後も皆さまのご支援を頼りにしております。どうぞよろしく願いたします」

八月二十二日現在の達成率が約60%。目標金額まで約200万円となりました。地元企業や学校の卒業生、市民団体をはじめ、市外県外など地域内外の合戦場の桜を愛する人々からも寄付が届いています。また夏休みの時期に帰省した方々からも励ましの言葉と支援が寄せられています。

一人一人の力は小さなものですが、みんながまとまれば大きな力になることを実感しています。市役所岩代支所に募金箱を設置してご支援をお願いいたします。

★目標金額 500万円
★現在の支援金額 299万3970円

「個人の皆様、地域内外の企業・団体の皆さまから、さらに親族ぐるみ等々でのご支援が寄せられています」

岩代の歴史シリーズ 最終回
両属の将 石川弾正の生涯⑯

いしかわだんじょうけんしやうかい
石川弾正顕彰会事務局長
日下部善己

十四弾正と二本松

開発領主塩松石川氏、そしてその最後の領主石川弾正光昌は、本宗家を離れ、小手森城や百目木城に拠点を置いて塩松東部の領地「塩松領石川分」をおよそ二五〇年の長きに渡り守り続けた。この間、石橋、大内、田村、伊達、相馬の各氏等と自立・協調・傘下・両属関係等を保ちながら戦国の世を生き抜いた。

この兵農未分離の時代の「塩松領石川分」の地に居住し、開拓・経営に尽力した多くの人が、拓によって、新たな農地等の生産基盤が整備された。さらに地域社会・生活共同体の基本的施設も構築された。

これらが江戸期の二本松藩、そして今日の二本松市発展の基礎となった。

ところで、戦国期の石川弾正光昌が政治・軍事拠点とした百目木城が営まれていた地元、百目木行政区では二本松市の補助金を受けて様々な普及・継承事業を行っている。

例えば、百目木城跡や名目津壇等、弾正光昌関係の旧跡に、その名称を刻んだ石柱を設置し

た。また百目木城跡や前館（向館）跡のつづら折れの長い坂道（登城館）には、道案内の手すりを設置して訪れる人びとの便に供している。さらに、近年は弾正光昌や広重ゆかりの場所等、地域の歴史や文化を示す多くの地点に「百目木名所」や「広重百目木八景」の表示案内板を配置して周知を図っている。

なお、平成二八年には、市旭公民館で開催された「第四回塩松石川氏（石川弾正）顕彰祭」の記念講演にて、弾正光昌公後裔の石川昌長氏が「石川弾正公と私」と題して、百目木城や江山長泉寺そして名目津壇等との長く深い縁を語っている。

（終わり）

◎主な参考文献

『衆臣家譜』、『奥相茶話記』、『相生集』、『松藩搜古』、『修訂版石川氏一千年史』、『石川公追遠四百年記念誌』、『戦国の真田』、『福島大学史学会「福大史学80」』、『福島県史学会「福島史学研究94」』、『福島古泉会「福島貨幣」』、『二本松市史』、『岩代町史』、『東和町史』、『本宮町史』、『三春町史』、『船引町史』、『角田市史』、『旭村郷土史』、『平島郡三郎「小浜町郷土読本」』、『拙稿「ふるさと福島の歴史と文化」』、『ふくしまの地域社会を活かす人びと』他

（令和6年2月20日稿了）